

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter 第51号 2016年12月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-1 石山ビル6階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 e-mail: office@jaise.org

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

I. 2016年度の活動報告

会長 野水 勉 (名古屋大学)

本年度の第21回研究大会(年会)は、2016年8月26-27日に、大阪大学・中之島センターにて開催されました。学会副会長・大阪大学近藤佐知彦先生を実行委員長として、大阪大学、学校法人エール学園理事長・長谷川恵一先生(学会理事)、学校法人大阪YMCA理事・佐藤裕幸(学会理事)の3機関の共催という形で準備していただき、学会事務局とともに横浜国立大学・鈴木雅久先生(学会理事)にも獅子奮迅のご活躍をいただきました。お陰様で、昨年の東京での研究大会と同規模の179名にのぼる盛大な大会となりました。前回に引き続き、日本語教育機関・専門学校からも多数ご参加いただきました。ご参加いただいた方々に感謝申し上げますとともに、ご準備いただいた関係者皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

第1日目のシンポジウムは、「留学生獲得とキャリア戦略-地域で取り組む留学生教育」と題し、まず文部科学省高等教育局学生・留学生課成相圭二課長補佐様および大阪観光局長の溝畑宏様より基調講演をいただき、引き続き、「学生獲得・キャリア戦略の様々な取り組み」について大阪商工会議所・人材開発部長鱧谷貴様、南海電気鉄道株式会社・矢野到様、関西経済連合会・小川克己様から話題提供をいただき、基調講演のお二方を交えてパネルディスカッションを行いました。成相課長補佐からは、留学生の就職に焦点を当て、社会構造の変化、企業の視点、学生の視点、国の対応という内容の講演をいただき、溝畑様からは、様々なご経歴を絡め、大阪における国際競争力のある観光立国推進の取り組みをご紹介いただき、多様な留学生受入れの重要性を強調していただきました。パネルディスカッションでは、関西地域産業界の各方面から留学生雇用のニーズや効果が大変高まっていることをご紹介いただき、活発な議論が行われました。

第2日目は午前・午後にわたり32件の一般研究発表が3会場に分けて行われ、並行して第4会場では、前回研究大会に引き続いて行われた「日本語学校・専門学校・大学の三者連携」のワークショップをはじめ4件のワークショップが企画され、大学、日本語学校、専門学校が地方自治体や企業と連携し、就職までを視野に入れた大阪地区の留学生獲得戦略モデルを中心に様々な活動をご紹介いただきました(詳しくは、後の報告参照)。懇親会は、大阪YMCA様が会場をご提供いただき、盛大に行われました。アトラクションの準備も含め、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

短期留学プログラム分科会は、2016年10月7日に「海外留学支援制度の今後について」と題して、東洋大学白山キャンパスで開催され、127名もの参加者が集まりました(詳細は報告参照)。「海外留学支援制度」の申請方法の見直しがあり、日本学生支援機構・担当課長から直接話を聞きながら意見交換できたことが大きな関心と呼んだことと思われます。

留学生担当教職員分科会は、「キャンパス内外の多文化環境整備の課題」がテーマで来る3月10-11日に立命館大学衣笠キャンパスで予定されることになりました。

本ニュースレターと共に同封されている今年の学会誌『留学生教育』第21号も、様々な分野の投稿をいただき、充実した内容の論文誌となりましたので、是非お目通しいただき、会員の皆様の研究推進に積極的にお役立てください。

最後に、昨年の第21回研究大会中に開催した学会総会にて、現在の学会副会長である大阪大学近藤佐知彦先生を理事会から2017-18年度の学会次期会長として推挙し、総会で承認をいただきました。4月から新しい理事会体制で、レベルアップした学会活動を牽引していただく予定です。筆者は、廣瀬幸雄前会長から東日本大震災直後の2011年度から引き継ぎ、3期6年間会長を務めさせていただきました。震災直後の厳しい時期もありましたが、お陰様でこの間に学会会員数が255人・機関から448人・機関と、約2倍近くに会員数が増え、研究大会の参加者数・研究発表が大幅に増えたことは望外の喜びです。これは、廣瀬前会長の時代に東京都専修学校各種学校協会(東専各)事務局内に当学会事務局を設置していただき事務局機能が充実したこと、大学、専門学校、日本語学校等、各種団体・企業等の関係者の皆様が幅広く参加できる裾野の広い学会の方向性を確立したことが大きな基盤となっております。そしてこの間、学会誌・編集委員会や専門分科会あるいは連絡会という形で、会員および理事会メンバーの皆様の活発な活動が実を結んでいるものと思われます。

近藤次期会長の下で、筆者も引き続き、末席で微力のお手伝いをさせていただく予定ですので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 研究大会開催について

第 21 回研究大会は 2016 年 8 月 26 日（金）・27 日（土）の 2 日間、大阪大学中之島センター（実行委員長：近藤佐知彦先生）にて開催しました。26 日（金）は講演ならびにパネルディスカッションで実施され、27 日（土）は留学生に関する諸問題を題材とした 32 件の一般発表に加え、テーマ別のワークショップを行いました（詳細後述）。

(2) 短期留学プログラム分科会について

第 10 回短期留学プログラム分科会は 2016 年 10 月 7 日（金）、東洋大学白山キャンパスにて「海外留学支援制度の今後」をテーマに開催されました。（詳細後述）。

(3) 学会誌『留学生教育』について

編集委員会（編集委員長 松見法男先生）のもと、査読委員を充実させ、より質の高い学会誌を目指しました。今回不採択になった原稿も次回是非再挑戦して頂きたいと思います。（詳細後述）。

(4) メールアドレス変更のご案内

当学会では目的に応じたメールアドレスを設定しています。旧アドレス (jaise@tsk.or.jp)からの設定変更をお願いいたします。

入会申込み、その他お問合せ office@jaise.org
留学生担当教職員分科会 stsupport-staff@jaise.org
短期留学プログラム分科会 tanpro-staff@jaise.org
日本語教育機関・専門学校等連絡会（分科会） schools-staff@jaise.org

(5) JAISE メールングリストご活用案内

システムの変更によりメールングリスト用アドレスに送信いただくことにより可能となりました。会員相互の情報交換ツールとして是非ご活用ください。

送信先メールアドレス ml@jaise.org

※そのまま返信すると全会員に配信されます。
※ファイル添付や HTML 形式での送信はできません。
テキスト形式で配信ください。

II. JAISE 総会のご報告

8 月 27 日（土）に留学生教育学会総会を開催し、

以下の審議事項について承認されましたことをご報告いたします。

1. 2015 年度事業報告
2. 2015 年度収支報告
3. 2016 年度事業計画
4. 2016 年度収支計画
5. 2015・2016 年度役員の追加について
6. 名誉会員の承認について
7. 次期学会長の推薦・決定手順と次期役員の決定時期の変更について
8. 2017・2018 年度の会長承認について

III. 第 21 回留学生教育学会研究大会総括

実行委員長 近藤佐知彦（大阪大学）

第 21 回 JAISE（留学生教育学会）研究大会を 8 月 26 日（金）・27 日（土）の 2 日間にわたり、大阪大学中之島センターで国公私立大学、専門学校、日本語学校等、留学生教育に携わる教育機関や企業の関係者等計 179 名の参加を得て実施しました。

「留学生獲得とキャリア戦略--地域で取り組む留学生教育」を大会テーマに 26 日（金）の第一部は文部科学省高等教育局学生・留学生課の成相圭二様、大阪観光局の溝畑宏様よりご講演をいただきました。第二部は「学生獲得・キャリア戦略の様々な取り組み」について大阪商工会議所・鯉谷貴様、南海電気鉄道株式会社・矢野到様、関西経済連合会・小川克己様から話題提供をいただきパネルディスカッションを開催いたしました。

27 日（土）は 32 件の一般研究発表に加え、昨年に引き続いて 4 つのテーマによるワークショップを設けました。

ワークショップテーマは以下のとおり

- 1.大阪発！地域連携の先行事例
- 2.日本語学校・専門学校・大学の三者連携の現在と未来
- 3.地域で取り組む観光インバウンド対応と留学生教育
- 4.食のグローバル化とそれを支える人材群

一般研究発表は 1 件あたり口頭発表と質疑応答の時間含めて 3 会場、30 分の時間を取り、各会場で積極的な質疑応答、議論が繰り広げられました。

本年の研究大会では基調講演・ワークショップとも官民一体となって留学生政策に取り組んでいる大阪の事例を紹介するなど地域色の濃い内容となりましたが、

全国から様々な学種・関係者の方々にご参加いただき充実した大会となりました。

実行委員会を代表して、平成 26 年度の研究大会が盛會に終わりましたことを会員の皆様にご報告するとともに、暑い中、大阪中之島に足を運んでいただきました参加者のみなさまに、心より感謝を申し上げます。

IV. 短期留学プログラム分科会報告

短期留学プログラム担当理事 鈴木 雅久

第 10 回短期留学プログラム分科会は、文部科学省ならびに日本学生支援機構からのご講演を頂き、来年度のプログラム設計への変更点や奨学金申請に向けての説明、質疑応答・協議等を行いました。およそ 3 週間程度の短期間の開催周知にもかかわらず、大学関係者を中心として 84 団体から 127 名の参加者を頂きました。

当日の会合では、招待講演に先立ち、東洋大学・教授の芦沢真五氏より、高等教育機関が海外機関と留学交流を行う際に、単位互換を円滑に行い、留学成果を組織的に充実・支援を可能とする UMAP の制度の紹介とその有効性についてお話を頂きました。

そして、本題の招待講演では、文部科学省高等教育局学生・留学生課の森次郎氏より、文科省からの次年度の概算要求や重点化事業、そして、今後の国際化事業に関する動向についてご講演頂きました。続いて、第 2 部では、日本学生支援機構留学支援課の吉田規雄氏より、今回の「海外留学支援制度」における大きな変更点や変更経緯についてご説明頂きました。

当日の会合における参加者の焦点は、やはり「海外留学支援制度」における選考方針の大きな変更点にあり、運営者側としては、多くの募集に対して審査の効率を図るとともに、毎年 3 割程度の奨学金が返却される切実な問題への改善策として今回の大きな制度変更の踏み切られた状況にあるのに対して、教育機関の現場の教職員からは、年々増してくる手続書類の種類と煩雑さが担当者の切実な悲鳴として聞こえてくる場面もあり、本会合の関係者全体が本制度の在り方や活用の仕方、他大学における取組などの情報交換を行うことができ、質実ともに改めて見直す機会となったように思われます。

最終的には、本分科会では、本制度を活用してよりよい留学交流が可能となるようにするためには、本制度に関するより率直な意見や情報の交換を行う必要があり、本会が参加者からの質問や意見を取りまとめて

文科省や日本学生支援機構と密接に情報交換を行っていくことになりました。皆様への意見・質問の募集は、今回の審査が終わる 1 月中旬ころを予定しておりますが、引き続き、関係者皆様からのご理解・ご協力をお願いしたいと考えておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

最後に、東洋大学様には、本会合の開催にあたり、短期間での開催のご相談に関わらず、共催・施設提供・話題提供の面において惜しみないご支援を頂き、本会を代表して心より感謝申し上げます。

V. 奨励賞・功労賞・優秀論文選考報告

この賞は、前会長の都河明子氏が本学会の発展のため、また会員増のために、ご自身で 100 万円を寄付し、2005 年に設立したものです。

2016 年度奨励賞・功労賞・優秀論文賞の選考結果は次の通りです。

■奨励賞受賞者

西村 康司 氏 (学校法人エール学園)

■功労賞受賞者

受賞者なし

■優秀論文賞受賞者

韓 暁 (かん ぎょう) 氏 (中国東南大学)

(論文発刊時所属：広島大学大学院教育学研究科)

「日本語文シャドーイング時の音韻処理と意味処理に及ぼす記憶容量の影響一文の口頭再生における反応時間と再生時間を指標として一」(研究ノート)

VI. 投稿論文締切日にご注意ください

学会誌『留学生教育』の投稿論文締切日は 4 月 30 日です。

『留学生教育』第 22 号 (2017 年 12 月発刊予定) の投稿論文の受け付け開始は 4 月 1 日、締切日は 4 月 30 日です。これは、審査過程に時間的な余裕をもたせ、投稿者による論文改稿がより充実したものとなるようにするためです。なお、論文を投稿される場合は、必ず本学会ホームページにて、最新の投稿規定・執筆要領をご確認ください。必要な書式をダウンロードして執筆・投稿いただきますよう、お願いいたします。

皆さまのご投稿を心よりお待ち申し上げます。

『留学生教育』編集委員会

Ⅶ. 事務局便り

1. 年会費納入のお願い

今年度年会費につきまして、11月末日時点で入金が確認できない方に請求書を同封しておりますので、1月末までに指定口座までお振込みくださいますようお願いいたします。

請求書が同封されている方で、大学名等によりすでにご入金いただいている場合は申し訳ございませんがお手数でも事務局 (office@jaise.org) までご一報くださいますようお願いいたします。

なお、会則により2年間未納の場合は翌年度自動退会となりますのでご注意ください。

2. JAISE メーリングリストに関する注意

本年4月よりシステムを変更して発信しているJAISEメーリングリストですが、送信エラーが毎回20件ほど発生しています。所属先変更で登録したアドレスがすでに使われていないケースや受信側サーバの設定など原因は様々ですが、未だメールが届いていない場合などは事務局までお知らせください。迷惑メールとして処理されている場合もございますので、いま一度ご確認ください。

送信先メールアドレス ml@jaise.org

[ご注意ください]

事前にお知らせいただいているメールアドレス以外からの投稿はできません。

MLからのメールに返信すると全会員に配信されます。

ファイル添付やHTML形式での送信はできません。テキスト形式で配信ください。

3. 会員数

2016年12月1日現在 448人【一般322、学生77、海外25、機関24】

4. 新入会員のお知らせ [2016年7月～入会順] (敬称略)

○一般会員		○機関会員	
梶原 綾乃	朝日大学	学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校	
石倉 佑季子	大阪大学	株式会社エドバック	
渡辺 真理子	東京大学	○海外会員	
坂本 友香	東北大学	熊井 知美	
小嶋 緑	文部科学省	○学生会員	
池田 佳子	関西大学	徐 暢	広島大学大学院
鈴木 秀明	目白大学	阿部 啓子	北海道情報大学
久川 伸子	東京経済大学	楊 潔水	広島大学大学院
山下 裕貴	修成建設専門学校	松見 学志	鳴門教育大学大学院
川村 忠隆	日本経済大学	林 韻	広島大学大学院
中村 隆志	新潟大学	佐々木 亮	中央大学大学院
田中 健志	株式会社ディスコ	橋口 篤志	横浜国立大学
上田 修三	同志社大学	郭 菲	大阪大学大学院
小川 剛	久留米大学	古賀 万紀子	早稲田大学大学院
総田 はるみ	横浜商科大学	山田 雅敏	静岡大学創造科学技術大学院
村山 かなえ	名古屋大学		
富田 高嗣	長崎外国語大学		